

- 基礎資料の各トピックを含め、参考指針の具体化に向けて重視すべきポイントや留意点としてどのようなことが考えられるか。
(例)
 - 指針全体のメッセージ
 - ・ 人的投資に関する情報開示が企業価値の向上につながるとともに、社員のエンゲージメントや生産性の向上に寄与し、更には中長期的な企業競争力の向上につながるような、「人的投資を起点とした好循環」を生み出す情報開示の在り方とはどのようなものか。
 - フレームワーク
 - ・ 前回の研究会では、国際的な開示基準の潮流とも整合的で、財務情報と非財務情報を統合的な価値創造ストーリーとして示すためのフレームワークの重要性について指摘があった。企業による開示の参考となるフレームワークを参考指針において示すことは有用か。有用だとすればどのような形で整理し、示すことが望ましいか。
 - 財務情報と非財務情報の関係性
 - ・ 前回の研究会では、人的投資関連情報を始めとする非財務情報について、中長期的な企業価値との関係性（将来キャッシュフローへの影響や財務指標との相関関係や因果関係）に力点を置いて示していくことが、現行の会計基準との関係でも、企業価値評価を行う投資家との関係でも、またIFRS財団を始めとする国際的な基準策定主体における議論との整合性との関係でも望ましいという指摘があった。
 - ・ これらを踏まえ、参考指針においては、財務情報と非財務情報の関係性の見える化に力点を置いて議論を進めていくことが望ましいか。
 - 指標・開示項目
 - ・ 前回の研究会では、人的投資関連情報について、
 - ① 企業の成長戦略を示す観点から開示する項目と、リスクマネジメントの観点から開示する項目
 - ② 企業独自の開示項目と、比較可能な形で開示することが望まれる項目
 - ③ 日本固有の状況に沿った開示項目と、グローバルに共通的に求められる開示項目などの区別について議論があった。指標や開示項目に関する考え方を、どのように整理していくことが望ましいか。
 - IR戦略
 - ・ 投資家の投資ポリシーや重視する企業情報が多様となる中で、どのような投資家にどのような情報を示していくことが、企業価値向上や投資家とのエンゲージメント深化の観点から望ましいか。
 - ・ その上で、企業のIR戦略の方向性について、参考指針に位置付けていくことは有用か。有用だとすればどのような形で整理し、示すことが望ましいか。
 - その他、前回の研究会で議論のあった、日本全体としての人的投資に係る課題感、日本の強みとして国際的に発信していくべき価値（健康投資や労働安全衛生等）、先進的な情報分析・開示手法、開示媒体の在り方、DXやAIを活用した開示情報の活用等について、参考指針においてどのように取り上げていくべきか。